

アスベスト検出キット

型式 DK-ASB

使用法

DPD発色法による DPD Coloring Method

主試薬 N,N-ジエチル-p-フェニレンジアミン硫酸塩

検出範囲 材料レベル1および材料レベル2の建材中の
クリソタイル 含有率 2%以上
アモサイト 含有率 1%以上
クロシドライド 含有率 5%以上

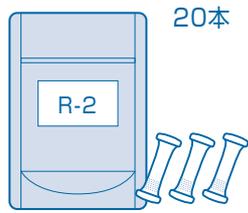
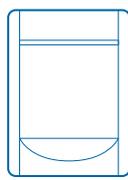
測定時間 約10分

GHS

警告

梱包内容

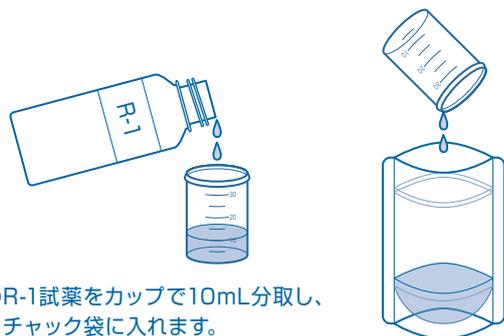
()内は用途

<p>R-1試薬 【材質:PE(容器)】 1本</p>  <p>(検液の調製)</p>	<p>R-2試薬 【材質:PE(チューブ)】 20本</p>  <p>(発色試薬)</p>	<p>チャック袋 【材質:NY/PE】 20枚</p>  <p>(反応容器)</p>	<p>カップ 【材質:PP】 1個</p>  <p>(R-1試薬の分取用)</p>	<p>さじ 【材質:PS】 1本</p>  <p>(検体の採取用)</p>
--	--	---	--	--

測り方

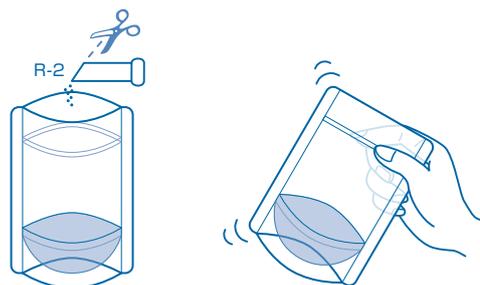
※検体を取り扱う際には、取扱い環境に応じた適切な保護具を着用してください。

1.R-1試薬の分取



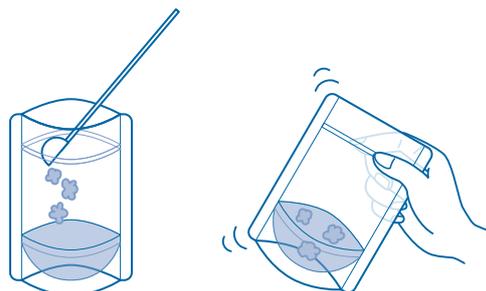
①R-1試薬をカップで10mL分取り、チャック袋に入れます。

2.検液の調整



②①にR-2試薬を入れ、チャックをしっかりと閉めて振り混ぜ、試薬を完全に溶解させます。これを検液とします。

3.検体の採取



③付属のさじで約1杯分(0.1g)の検体を採取し、②に入れます。5~6回程度振り混ぜます。
※綿状の検体の場合、さじ半分~すり切り1杯で約0.1gです。検体により高密度が異なるため、厳密な量が必要な場合は電子天秤などで量り採ってください。

4.発色の確認



④10分直後の検液の色を確認します。石綿を含有している場合は、薄桃色~赤色に発色します。



株式会社 共立理化学研究所
KYORITSU CHEMICAL-CHECK Lab., Corp.

神奈川県横浜市緑区白山1-18-2 ジャーマンインダストリーパーク
TEL:045-482-6937

特徴

- この製品は、広島県立総合技術研究所保健環境センターにより開発された特許技術(特許 第6781441号)を用いており、広島県とのライセンス契約に基づく製品です。
- 石綿飛散漏洩防止対策徹底マニュアル(厚生労働省,2.20版,平成30年3月)における、材料レベル1(石綿含有吹付け材)および、材料レベル2(石綿含有耐火被覆材、石綿含有断熱材、石綿含有保温材)を対象に、石綿(アスベスト)の含有を簡便な操作で判定できます。材料レベル3(その他石綿含有成形板)の建材は誤発色や不検出のおそれがあるため適用できません。
- 現地での事前調査や試料採取時などにおいて、建材中の石綿(クリソタイル2%以上、アモサイト1%以上、クロシドライト5%以上)の含有が約10分で判定できます。
- 本製品では、石綿の含有率は測定できません。
- 本製品の使用は、日本国内に限ります。

注意

1. 建材中のクリソタイル、アモサイトおよびクロシドライトの含有率が高いほど、発色が強くなります。
2. 建材の種類によっては、石綿が含まれない場合であっても、発色する場合があります。また、発色がない場合でも、石綿が非含有である証明にはなりません。公定分析法に従い確認してください。
3. 「測り方」②で検液を調製後、長時間放置すると着色する場合があります。検液は測定する直前に調製してください。
4. カップ、さじは繰り返し使用します。前の検体の影響がないように、良く拭きとるなどしてから使用してください。チャック袋は1回ごとに使い捨てです。
5. 検液の温度は20~30℃で測定してください。
6. 発色時のpHは約6です。
7. 屋内で使用してください。屋外では紫外線により、石綿の有無に関わらず検液が薄桃色に発色する場合があります。
8. 発色の確認は、10分直後に行なってください。反応時間を過ぎると、薄桃色に発色する場合があります。

共存物質の影響

下記は、検液に単一の物質を添加した場合の発色への影響データです。

100mg/L 以下は影響しない	・・・	Ag ⁺ 、Al ³⁺ 、B ³⁺ (ほう酸)、Ca ²⁺ 、Cl ⁻ 、F ⁻ 、K ⁺ 、Mg ²⁺ 、Mn ²⁺ 、Na ⁺ 、NH ₄ ⁺ 、Ni ²⁺ 、PO ₄ ³⁻ 、SO ₄ ²⁻ 、Zn ²⁺
50mg/L	//	・・・ Ba ²⁺ 、Fe ²⁺ 、NO ₃ ⁻ 、シリカ、フェノール
20mg/L	//	・・・ Co ²⁺ 、Cr ³⁺ 、Mo ⁶⁺ (モリブデン酸)
5mg/L	//	・・・ Cu ²⁺
少しでも影響する	・・・	Cr ⁶⁺ (クロム酸)、Fe ³⁺ 、NO ₂ ⁻ 、V ⁵⁺ (バナジン酸)、残留塩素

酸化性物質、還元性物質が影響する場合があります。

使用前、使用後の取扱い注意

- 応急措置** 試薬・検液が **目に入ってしまったら** → すぐに多量の水で洗い流してください。
試薬・検液が **皮膚や衣服にふれたら** → すぐに水で洗い流してください。
試薬・検液が **口に入ってしまったら** → すぐに水で口の中を洗い流してください。

試薬・検液を飲み込んだり、上記の措置後に異常がある場合には、すぐに医師の診断を受けてください。
特に試薬を飲み込んだ場合には、水または牛乳を多量に飲み、すぐに医師の診断を受けてください。

- 保管** 試薬は、乾暗所(常温)に保管してください。R-2試薬は袋のチャックを閉めて密封保存してください。特に夏場や梅雨時には保存状態により、数日で試薬が劣化することもあります。

- 廃棄** 事業活動で使用する場合は、各関係法令に従って適切に廃棄してください。
石綿が含有していた場合、使用後のチャック袋は、廃石綿等と同様に処理してください。

試薬に関するお知らせ

本製品は、取扱い者へのSDSの提供を義務づけた「PRTR法」、「労働安全衛生法」および「毒物及び劇物取締法」には該当しません。